

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
1	P.33	イメージは理想的ですばらしいと思うが、どのような形でつくりあげ、利用者を増やすのかを具体的に考えを示してほしい。 または、利用者の意見を聞く機会を定期的に関く計画案を示してほしい。	P.51 運営の基本方針として「市民等を交えつつ、効果的・効率的で持続可能な施設運営を目指します。」と定めているところです。 このため、P.51（3）運営形態・運営体制に「利用者からの意見を聞くためのアンケートボックスなどを設置し、運営体制の改善に努めます。」を追記します。	
2	P.1	ここ数年、各種計画策定時における上位関連計画として、下田市グローバル CITY プロジェクトが掲げられている。本構想・計画においても、その関連性を示す必要がある。 そうすることで、市民にその理念が浸透され、下田市が掲げるビジョンに資する施設整備につながると考える。	P.1「第3節上位関連計画の整理」に下田市グローバル CITY プロジェクトと本構想・計画の関連性について追記します。	
3	P.1	下田市における生涯学習体制の課題は何でしょうか？ 生涯学習に対する取り組みは？ 参加状況は？	人口減少や少子高齢化による利用者層の変化、活動団体の減少、多様化する学習ニーズへの対応、デジタルサービスへの対応、関係機関との連携強化、人材確保などが挙げられますが、生涯学習活動を支える施設の老朽化も課題となっています。 P.15～中央公民館の利用状況や利用者数の推移、活動等を記載しております。青少年育成の推進、成人教育、公民館活動、芸術文化振興、図書館運営、読書推進、スポーツ振興等様々な取組を行い、生涯学習、社会教育の振興を図っています。毎年、市が発行する「主要な施策の成果」等で公表しています。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
3	P.13 P.18 ~ 21 P.41 ~ 42	図書館の課題 ・写真で見ると「利用しにくい書架」は柱の部分に書架をつづければ、書架の安定にもつながり、書架の間隔にゆとりが生まれると思う。 ・狭い児童コーナーについては、中央公民館に移転することで広く使えることが期待できる。 ・中央公民館への移転は承知できるとして、どのようにするかが問題だと思う。この点について、具体的な構想案がほしい。 ・テーマ欄の意見に対する考察・構想がほしい ・小さな拠点（まちじゅう図書館）が少々たよりないですね。3年くらい経過していますが、成果、課題は？ - 構想としては大賛成ですが・・・	・現在、図書館では、利用しにくい書架の改善に向け様々な工夫を凝らしています。貴重なご意見ありがとうございました。 ・P. 46 に記載のように、ゆとりある配置を検討してまいります。 ・P. 47 に構想案をイメージとしてお示ししております。具体的なものについては、今後の実施設計にて検討してまいります。 ・P. 23～市民・利用者ニーズの分析を記載しております。 ・ご指摘のとおり、現在のまちじゅう図書館は市内に6箇所とまだ少ない状況です。地域展開が課題と認識しています。引き続き、皆様の意見、協力を得ながら、身近で本にふれあう場所、環境の構築に努めてまいります。	
4		・他市の図書館を利用したが、立派な設備がそろっている図書館だったが、改修費が高かったことや”図書館が商業施設化している”といった声が多く、結果いつもあまり人がいないような印象だった。 - 一方、若年層の利用を増やすにはやはりカフェ併設やイベントなどで『図書館に行く価値』を高める、蔵書の選定にも若年層向けのものを増やすべきではあります。ただし、飲食を含む「滞在型図書館」では、高さを抑えた使いやすい書架や、ゆったりした閲覧スペースなどの静	・P. 47 配置パターン案にある通り、集中エリア（もくもく）、ゆったりエリア（ひそひそ）、親子・キッズエリア（にぎわい）を想定しています。具体的な配置は今後の実施設計によりますが、「分離」を一つのテーマと認識しています。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
4		けさを重視する層と、ある程度の雑音や、ゆったりした閲覧スペースなどの静けさを重視する層と、ある程度の雑音を許容してくつろぎたい層が共存するため、「静かなゾーン」「会話や飲食が許容されるゾーン」「ワークショップなどを実施するゾーン」の明確な分離が鍵となるかと思います。 ・中央公民館を中途半端に改修したところで、こういった課題をクリアした建物にできるかは疑問が残ります。河内新市役所の体育館を改装したほうが、駐車スペースや授乳室問題含めまだ使い勝手がよいのでは、と感じてしまいます。移住してきた際に子どもたちが最もガッカリしたのが下田市図書館の現状でした。ぜひ子供たちも楽しく使いやすい図書館をお願いします。	・現在の下田市には少子高齢化、人口減少等、さまざまな課題がある中で、中央公民館と図書館の複合化を行い、中期的に使用できる中核的な拠点を整備することが社会教育の推進に効果的と考えました。 図書館の整備に当たっては、「子どもたちの居場所」となり、子育て支援の場となるような施設の整備と図書の充実を目指してまいります。	
5		私は図書館整備そのものに反対するものではありません。しかし、本計画を読んで最も疑問に感じたのは、「なぜ今この事業が必要なのか」という点について、市民に対する説明が十分ではないことです。 下田市は人口減少と高齢化が進んでおり、将来的にも人口増加は見込めない状況にあります。また、市は公共施設の見直しや財政健全化に取り組んでいると理解しています。 そのような状況の中で、本施設整備がどのような位置付けにあり、市の将来像や財政運営とどのように整合して	・現在の図書館は、耐震性の不足や、施設の老朽化が著しく、利用者の安全の確保が喫緊の課題となっております。そのため、令和4年度より、ワークショップや社会実験・イベントを複数回行い、市民も参加し検討を進めてまいりました。 ・P.1に図書館に関する位置づけとして「第5次下田市総合計画 後期基本計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和8	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
5		いるのかについて、より具体的な説明が必要だと考えます。特に、 ・将来人口推計を踏まえた利用予測 ・現在の図書館の利用実績の長期推移 ・改修によって期待される具体的効果 ・維持管理費を含めた長期的な財政負担 ・公共経営改革実行計画との整合性 ・他施設との統合や代替案との比較検討 について、市民が理解できる形で示されるべきではないでしょうか。 私は施設整備に反対しているのではありません。むしろ整備するのであれば、人口減少社会に対応した新しい発想の施設を目指していただきたいと考えています。 私は30年以上前にアメリカでBarnes&Nobleのような大型書店を初めて見た際、大きな衝撃を受けました。そこは単に本を販売したり保管したりする場所ではなく、人々が自由に本を手に取り、それぞれの時間を過ごせる空間でした。 現在では電子書籍、オーディブル、インターネット検索、国立国会図書館のデジタル化などが進み、情報を得るだけであれば自宅でも可能な時代です。そのため、これからの図書館に求められるものは、蔵書数の多さではなく、人が実際に訪れたいくなる魅力だと思います。私自身、自	年3月)」などがあります。 ・P.4に下田市の人口推移を記載しております。 ・P.10に図書館の利用状況を記載しております。 ・P.33に複合施設整備の有効性を記載しております。 ・中央公民館との複合化することにより、効率的な維持管理が見込めます。 ・公共経営改革実行計画の中でも、基本方針として「体質を改善する～将来を見据えた公共経営改革に向けて体質の改善を図る～」と定められており、施設の複合化は整合するものと考えています。 ・P.26～令和4年度に実施した下田市立図書館整備計画基礎調査による比較検討状況を記載しております。 ・市民・利用者ニーズなどの把握に努め、電子図書の活用も視野に、次の世代に過度な負担とならない持続可能な施設整備を目指してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
5		宅でソファに座って本や資料を読んでいると、気が付けば数時間が過ぎていることがあります。人は快適な空間があれば自然と本を読み、学び考えます。一方で、日本の住宅事情では誰もが十分な読書空間を持てるわけではありません。だからこそ公共施設には、自宅では得られない快適な滞在環境を提供する価値があります。 保存すべき郷土資料や行政資料については確実に保存しつつ、一般図書についてはデジタル化や図書館間連携も積極的に活用し、必要以上に書庫面積を拡大するのではなく、人が快適に過ごせる空間づくりに重点を置くことを提案します。例えば、 ・一人で落ち着いて過ごせる読書スペース ・長時間利用しても疲れないソファや椅子 ・Wi-Fi や電源を備えた滞在空間 ・コーヒー等を楽しめるスペース ・市民だけでなく観光客も気軽に利用できるラウンジ機能などを充実させることで、単なる貸出施設ではなく、市民や観光客が自然に集まりたくなる施設になるのではないのでしょうか。下田市に必要なのは立派な箱物ではありません。人口減少時代においても利用され続ける魅力的な公共空間です。まずは本事業の必要性和財政面での合理性について、市民に対して十分な説明を行っていたきたいと思います。		

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
5		その上で、本施設が下田市で最も居心地の良い公共空間となることを期待します。		
6	P.33～	複合施設として、中央公民館ではなく、旧下田保育所の利活用を提案します。 ” 世代を超えた交流の場 ” ” みんなの居場所 ” ” 町の中核的拠点 ” という事を考えたとき、現中央公民館ではあまりにスペースが狭く、暗く、窮屈だと思います。旧下田保育所は、部屋数も多く広々して、屋外スペースも広く、ゆったりと開放的です。拠点をここに1本化すれば、人事面でも現図書館職員2人位で充分と思います。 稲取” よりみち 135 ” (旧稲取幼稚園) は、多世代交流拠点施設として、成功しています。立地条件は違いますが、下田らしい居場所を作る！という目的に向かって、できる方法を考えていきましょう！！ 一度” よりみち 135 ” の視察を、みなさんで行くことを希望します。	P. 32 にて下田保育所跡地の活用について、検討を行いました。施設の集約化による、運営コストの低減効果や、保育所は未就学児規格の建物・設備であり、利用するには大規模な改修が必要となることから、今回は中央公民館を改修し、図書館と複合化することが有利であると判断をいたしました。 整備にあたっては、様々な事例を研究し、必要な視察を行ってまいります。	
7		空いた公共施設の活用と複合施設という点には賛成です。ただ、中期的使用（10～15 年間位）というところに引っ掛かります。長年の懸案だった図書館を新設するのに、そんな短期間のスパンでの使用しか見込まないのはどうでしょうか？10～15 年したらまた別に造るという	P. 24～P. 25 に記載しておりますが、本計画は現図書館が耐震性の不足により、利用者の安全性が確保されていないことから、早期に移転することが重要と考え、中期的に使用できる未来の下田図書館における中核的な拠点の整備を検討するものです。長期的には、図書館機能そのものが変化の過程にあることか	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
7		ことですか？「段階的に最適化」していく、というのはうまい言い方だと思いますが、現実にはどうでしょうか。 次の疑問は、ワークショップでも共通して希望が出た「市民が気軽にいけてゆったり過ごせる図書館」ということで、勉強できるスペース、書架と読書空間、子供のための場所などなど設計案が出ていましたが、中央公民館の1階スペースに詰め込み過ぎではないでしょうか。カフェの希望もありましたが、それは無理そうですね。 スペース的な面ともう一つ空いた公共施設の活用の意味から言えば、すぐそばにある旧下田保育所にこども関係の図書館を集めて分室的にするのはどうでしょうか。部屋や収納場所も多く、さらに給食設備の整った調理室もあり、ここを何かに活用しないのはもったいないと思います。下田保育所活用案との比較検討もでていましたが、中央公民館は耐震補強したとはいえ、元図書館よりも古く、一方、下田保育所はそれよりも17年も新しいことを考えたら、それこそ10～15年使用の見通しよりも長くつかえるのではないのでしょうか。 さらに、中央公民館では、二階の公民館を含めて生涯学習と図書館、多世代多様な人々が利用することを考えたら、バリアフリーの意味でエレベーターは不可欠だと思いますが、どうでしょうか。高齢化で高齢者の利用が多い中、あの階段はとても負担になっています。	ら、継続的に検証を行い、適切に施設整備を進めていく予定です。 ワークショップでいただいた意見については、P. 18～P. 23 で分析を行い、本計画に可能な限り反映しております。今後、実施設計を行うにあたって、皆様からのご意見はパブリックコメントも含め、活かしてまいります。 P. 32 にて下田保育所跡地の活用について、検討を行いました。施設の集約化による、運営コストの低減効果や、保育所は未就学児規格の建物・設備であり、利用するには大規模な改修が必要となることから、今回は中央公民館を改修し、図書館と複合化することが有利であると判断をいたしました。 本計画は、将来にわたって持続可能な施設としていくために、必要最小限の改修で最大の効果を図っていく考えです。エレベーター等の施設には多額の工事費や、構造改修が必要であり、現時点で設置は困難と判断しております。可能な限り、利用しやすい施設となるよう、運営や設備の工夫に努めます。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
7		図書館を2箇所にすると、人件費や管理維持費でお金が多計にかかりますが、例えば、市会議員の定数を減らしてはどうでしょう。南伊豆町も減らしたのですから。または、下田の文化的施設のために寄付を募るとかクラウドファンディングという手もあります。長く使える良い施設にしていくために、無理、の前にできる方法をひねりだしてほしいです。 このパブリックコメントは、市民の意見を言う場として設けていただいているのだから、ちゃんと思いを伝えようと思いました。そんな思いをしっかりと受け止めてこれからの図書館計画に生かしてほしいです。よろしくお願い致します。	事業費用については、国などの交付金を活用するなど、市の財政負担が可能な限り小さくなるよう検討してまいります。 維持管理費についても、将来にわたって持続可能な施設となるよう工夫してまいります。	
8		○よいと思ったことと、その理由。 1 多様なエリアが設けられていること ・読書、学習、交流など、目的に応じて利用できる。 ・静かに過ごしたい人と、会話や交流を楽しみたい人がそれぞれ利用しやすい。 ・幅広い年代の人が満足できる施設になりそう。 2 施設全体が広くなること ・人が多くても窮屈にならない。 ・本を探しやすくなる。 ・多くの人が利用できる。 ・今までより快適に過ごせそう。		

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
8		3 飲食・カフェスペースが設けられること ・読書の後に飲み物を飲んで休憩できる。 ・長時間ゆっくり過ごせる ・カフェとして利用でき、人が集まり交流が生まれる。 ・施設の収益にもつながるのではないかな。 4 キッズエリア・親子スペースの充実 ・今までより広いキッズスペースになる ・子どもが退屈せず楽しめる。 ・親子でゆったり過ごせる。 ・多くの子どもと一緒に遊べる。 5 本の探しやすさ ・種類ごとに分かれていて探しやすい。 ・読みたい本をみつけやすい。 6 駐車場について ・駐車場が広くなることは良い。 ・駐車しやすくなることを期待している。 ○もっとこうしてほしいことと、その理由 1 漫画コーナーの充実 ・漫画が好きな人も利用しやすくなる。 ・歴史漫画や学習漫画、アニメに関する漫画などを読みたい。 ・地域の人がさらに利用したくなる。	漫画の貸出は、子どもや若い世代が図書館に親しむきっかけになると考えます。蔵書バランスを考慮しながら検討してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
8		2 本や資料をさらに充実させてほしい ・ 2階にも多くの本を置いてほしい。 ・ 広くなる分、本の冊数や種類を増やしてほしい。 ・ 収蔵されている本や資料をもっと詳しく紹介してほしい。 3 本を探しやすくしてほしい ・ ジャンル表示をもっとわかりやすくしてほしい。 ・ 年齢や興味に応じたおすすめ本を紹介してほしい。 ・ 「何を読めばよいか分からない人」のためのおすすめコーナーがあるとよい 4 学習・読書スペースを充実させてほしい ・ 閲覧席や学習スペースをもっと増やしてほしい。 ・ ソファやビーズクッション（ヨギボーなど）を置いて、ゆったり読書できるようにしてほしい。 ・ゲーミングチェアのような座り心地の良い椅子があるとうれしい。 5 飲食・休憩スペースの充実 ・ ドリンクバーを設置してほしい。 ・ 本を借りた人は一杯無料になるとよい。 ・ 中庭など屋外で休憩できる場所がほしい。 6 静かな環境づくり ・ ゆったりエリアの近くのにぎわいエリアがあるため、静かに過ごせるか心配。 ・ 静かな音楽を流すと落ち着いて読書できそう。	市民の皆様の日常利用を重視し、蔵書の充実に努めてまいります。 NDCに基づくジャンル別、探しやすい配架を心がけるとともに読書相談の充実などを図ってまいります。 多くの方から要望があり、必要性を認識しております。 限られた空間の中でも、静かに読書や学習ができる環境を整備できるよう、レイアウトや運用を工夫しながら検討してまいります。 利用者の利便性向上につながるものと認識しています。 施設全体の機能とのバランスを踏まえながら検討してまいります。 図書館の重要な機能と認識しています。 ゾーニングで工夫し、利用目的に応じた環境づくりに努めてまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
8		7 イベントや利用促進の工夫 ・読み聞かせイベントを行ってほしい。 ・スタンプラリーを開催してほしい。 ・図書カードが当たるイベントがあると楽しそう。 ・利用しやすくなるような無料チケットなどがあるとうれしい。	利用促進につながる講座や展示、イベントなどを実施し、幅広い世代に親しまれる図書館づくりに努めてまいります。	
9	P.10 P.10 、 P.11 、 P.20	・令和4年度から令和6年度にかけて、下田市の人口減少率は数%である一方、貸出冊数は45,838冊から32,871冊へ約28%も減少しています。このことから貸出冊数の減少は人口減少以外の要因があるのではないかと私は考えます。令和6年度は前年度からの落ち込みが大きく、これが一時的なものなのか利用減少の加速を示すものなのかを確認したいです。令和7年度実績を踏まえて、減少要因を可能な範囲で分析してください。 ・令和6年度の蔵書冊数101,117冊に対する貸出冊数の割合（蔵書回転率）は、約0.33回に留まっており、蔵書が十分な利用に繋がっていない可能性があります。本計画では施設についての記載が主となっておりますが、蔵書の量や質の適正化も検討していただきたいです。一利用者の実感としては、乳幼児向けの絵本については、新しい本や魅力的な本も一定程度あるように私は感じます。令和6年度の絵本の購入率は約3.0%であり、全体の購入率1.9%に対して高い値です。しかし、文学（約	令和7年度の貸出冊数（個人）は32,759冊となっています。近年の貸出冊数の減少は、ライフスタイルの変化やICT化の普及に伴う情報媒体の多様化など、様々な要因が影響しているものと認識しています。 現在、図書館の移転に向けて、蔵書の整理・点検を行っているところです。利用状況や地域ニーズを踏まえて、蔵書構成や資料購入のあり方についても検討してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9		1.6%)等、購入率が低いジャンルもあり、10代の若年層や大人にとって「借りたい本がない」状況になっているのではないかと懸念しています。20ページの中高校生向けワークショップの結果では、恋愛系の本、マンガ、課題図書やトレンドの本を希望する意見、ヤングアダルトコーナーの充実を求める意見のほか、古い本や難しい本が多いという意見もあります。利用者の年齢割合を見ると、中学生および高校生は非常に低い状況です。中学生や高校生が図書館にアクセスしづらいという要因だけでなく、蔵書の新しさや種類についても検証すべきではないでしょうか。新たな図書館を整備するにあたっては、蔵書回転数や購入数の目標値も示していただきたいです。		
	P.25	中期的施設の利用は10年～15年程度を想定されているとのことですが、今回の中央公民館改修費用と、将来的に再移転をする際の費用とが二重投資になることを私は懸念しています。二重投資を避けるための考え方を示してください。	中期的施設の整備にあたっては、必要最小限の改修で最大の効果を図っていき、改修内容については、将来的に不要となる設備への過大な投資を避け、施設の長寿命化や、移転後も活用可能なものを考慮しながら、二重投資とならないよう計画してまいります。	
	P.27	過去の候補地選定において「下田駅周辺または市民文化会館での評価が高かった」との記載がありますが、「いずれも建設までは長い時間を要すること、新庁舎建設をはじめ多くの公共施設整備の課題を抱えているなか、図書館単体での整備方針を決定することは、市全体の合理性	現在の図書館は耐震性が不足しており、利用者の安全確保が最優先の課題となっています。そのため、将来的な移転を見据えつつも、早期に図書館を安全に利用できるよう、必要最小限の改修を実施し、移転を予定するものです。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9	P.29	にそぐわないことから」との理由で候補地の比較対象から外れています。「時間を要する」ことは、再整備候補としての検討対象から外す理由にはならないと私は考えます。市民文化会館を改修して図書館機能を複合化する案、および旧市役所跡地を活用する案を検討したのかどうか教えてください。また、これらの案を検討対象から外したのであれば、その理由を明らかにしてください。 比較表において、中央公民館の課題として「図書館と公民館を併用する考えのため、それぞれの面積が現在の規模より縮小されることとなる。そのため、図書館、公民館共に本施設以外で機能を補填するような検討が必要とされる。」とされています。図書館機能について、本館で確保する機能と外部拠点で補う機能とを明確にしてください。	複合施設化した後の図書館はP.43に記載のとおり、蔵書の収集・貸出等の基本的な図書館機能のほか、「保存機能」「展示機能」「相談機能」「居場所機能」等を拡充します。外部機能としては、例えば郷土刊行物や歴史資料など、後世に受け継ぐべき資料は、地震津波などの影響を受けにくい場所への保存を検討しています。	
	P.39、 P.41	本計画において、新設では従来の図書館機能に新たな機能が拡充され、さらに市内各エリアに図書館機能が分散されるものと理解しています。もし職員体制が不十分であれば、十分なサービス提供や安全管理がなされなくなるのではないかと私は懸念しています。新施設の運営および分散される図書館機能の提供のため、現在より職員数や司書数を増やす予定があるのかどうかを教えてください。増員しない計画の場合、どのように運営業務を担うのか示してください。	現在のところ、司書職員を増員する計画はありませんが、様々な立場の多くの方が図書館の運営に関わっていただきたいと考えております。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9	P.23 、 P.40 P.41	読書バリアフリーサービスの具体的な内容に、電子書籍の読み上げ機能だけでなく、音声図書（オーディオブック）の追加も希望します。利用者ニーズとして音声読書があるとの分析がなされいますし、私の親族や知人からも「老眼で目が疲れるので本や電子書籍が読めなくなり、オーディオブックで読書に切り替えた」という意見を聞きます。 「まちじゅう図書館」は、利用者が偶発的に本と出会う機会の創出や、観光客に対する印象向上に一定の効果がある取組みだと理解していますが、公共図書館サービスの代替ではなく補完に留めるべきだと私は考えます。図書館には、読みたい本を探して借りる・返却する、学習や調べもののために滞在するという機能があり、これらが無料で市民に提供されることに意義があります。民間店舗は不定休の場合もあり、店舗利用には費用も伴います。特に若年層や高齢者等の経済的に余裕のない方にとって、無料で利用することのできる公共図書館の役割が重要だと私は考えます。従って、「まちじゅう図書館」を市民への図書館サービスの柱として過大に評価すべきでないとは私は考えます。市民の日常利用を支えるために、公共施設を活用した市内各エリアの拠点と移動図書館を組み合わせた、民間の善意に頼らないサービス設計を明確にしてください。	読書バリアフリーは、これからの公立図書館に求められる重要な機能と認識しています。オーディオブックや電子書籍の導入について検討してまいります。 まちじゅう図書館は「本が身近にある環境を日常化」することで、まち全体が図書館となる仕組みづくりです。ご意見のとおり、読書推進の拠点は市立図書館であり、小さな拠点は、本を流通させ、誰もが身近に読書や学習に親しめる場として認識しております。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9	P.41	「小さな拠点」とはどういった機能を持つ施設なのか、具体的に説明をしてください。 過去資料を見ると、令和4年度第2回総合教育会議【資料4】では、「蓮台寺ワーケーション複合施設」と「まちなか図書館」の組合せを「小さな拠点」として提案があったものと認識されます。これは、一定の図書館機能を有する公共施設を整備した上で、現在行われているように本を置いた民間店舗を増やす施策と理解できます。さらに、令和7年度第3回総合教育会議【資料】3ページの図には、市域の各エリアに地区集会所などの「小さな拠点」を複数設置する考え方が示されていますが、今回の計画案では「小さな拠点」が、民間の店舗等に本を置いた「まち図書館」のみを指すような記載となっており、説明が不明瞭です。	「小さな拠点」は、様々な事情で市立図書館を利用しにくい市民が、地域で気軽に本に触れることができる場所と認識しております。 地域の事業所だけでなく、今後公共施設への展開を積極的に検討してまいります。	
	P.19 、 P.41 、 P.51	「小さな拠点」は、図書館サービスの提供だけでなく、猛暑時に市民が安心して過ごせるクーリングシェルターとしての役割も期待できると私は考えます。上記の観点からも、公共施設を活用した「小さな拠点」の整備（冷暖房整備を含む）を希望します。ワークショップにおいても下田スポーツセンター（サンワーク下田）、美術館、体育館で本を読みたいという意見があります。市の保有施設や学習施設に限らず、柔軟な既存施設の活用がされることを望みます。また、稲生沢公民館についての「小	各地域に「小さな拠点」を配置できるよう、今後も検討してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

[illegible]

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9	P.13 、 P.45 ～ P.49	と等の課題が述べられています。民間の店舗等に本を置く施策をこのまま進めるならば、市が認識している課題に対する具体的な改善策と、施策効果の検証方法を示してください。また、施策を進める場合には、対象店舗をカフェや観光客向けの店舗に限らず、病院、薬局、銀行、郵便局、自動車整備関連店舗など、元々待ち時間が発生する場所との連携を優先的に検討すべきではないでしょうか。19 ページや 21 ページのワークショップ結果でも、「駅やバス停に本を置いてほしい」という意見があります。カフェ等の小規模飲食店では、本を置くことが顧客回転率の低下要因になることから、店舗側に参加のインセンティブがなく拠点数が伸びない要因となっている可能性もあります。「まちじゅう図書館」を市民の日常利用につなげるためには、市民が日常的に利用し待合機能を有する施設を重視した方がよいのではないかと私は考えます。 現図書館は、実質的に 1 階 348.08 ㎡が主な利用空間であるため、改修後の中央公民館 1 階 575 ㎡は、面積上は一定程度広くなると理解しています。一方で、日本図書館協会の「図書館システム整備のための数値基準」2023 年改訂版によると、人口 1 ～ 3 万人規模の自治体についての広さの基準は延床面積 1,521 ㎡です、575 ㎡は、この基準の 37.8%に留まります。	「未来の下田図書館」という発想は、人口減少や少子高齢化、地域コミュニティの希薄化への対応として有効と考えております。ご提案の待合文庫は、重要な提案として検討してまいります。 P. 33～複合施設に求められる姿を記載しておりますが、開架冊数は 5 万冊程度とし、身近に読書に親しめるよう、蔵書構成は市民の日常利用を重視した利用型図書館を目指しています。席数やキッズスペースの面積などは、今後の実施設計の中で検討してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9	P.46	新施設は、小さい面積に今までよりも多くの機能が盛り込まれているように見受けられます。13 ページに示された現図書館の課題「小さな閲覧スペース」、「利用しにくい書架」、「狭い児童コーナー」について、新施設においてこれらの課題が解消されるのかどうかを数値で示してください。具体的には、新施設と現図書館の開架冊数、閲覧席数、学習席数、キッズスペースの面積を数値で示し、比較してください。未定の場合は今後の計画にて市民に対して明らかにしてください。 私は、本計画が子育て世帯にも大きく関わるものだと考え、稲生沢こども園およびひかり保育園の協力を得て、同園の保護者に新設案を周知し意見を募集しました。以下、私以外の他の保護者からの意見も併せて新施設案にコメントいたします。複数名から、「今までの図書館は暗すぎた」、「照明が暗いせいで全体として暗いイメージになっていた」、「なるべく自然光が入る明るい図書館が良い」との意見がありました。本計画では「自然光の積極的な導入と適切な照明計画により、明るく開放的な空間を形成するとともに、快適な読書環境を確保します。」との記載があり、この方針には大いに賛成です。	多くの方の意見を集約くださり深謝申し上げます。 かつての図書館は、本の保存を重視し、紫外線を避ける発想があったように思います。本の劣化を防ぐ工夫を盛り込みながら、図書館が明るくなったと感じてもらえるよう実施設計に向け検討を進めてまいります。	
	P.23 、 P.46	保護者から「スチール製ではなく木でできた本棚にしてほしい」、「子どもコーナーは、子どもの目線の低い本棚で、表紙が見えるように配置する等の工夫をしてほしい」	図書館什器の質や量については、耐久性や費用面を考慮したうえで、総合的に判断しますが、可能な限り施設の機能と調和するものを選定したいと考えております。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9	P.47	という意見がありました。資料では、市民ワークショップから「木のぬくもり」や「低い棚の設置」のニーズがあるという分析もなされています。配置パターンの考え方として「閲覧スペースには、落ち着いた色調や温かみのある素材を採用」、「書架の高さや配置を工夫」する方針に賛成です。短期的に什器を更新するのは難しいとしても、長期的な什器の更新計画策定と、再移転するとしても使い続けられる飽きの来ない丈夫な什器の選定を希望します。 建物南側に閲覧席としての屋外テラス新設が予定されていますが、私はこの案に反対です。テラスと駐車場の間にフェンスが設けられるにしても、バック駐車する車の排気ガスやエンジン音により、利用者がくつろげる空間にはならないと私は思います。また、駐車場横では景観も期待できません。他の保護者からは、「可能であれば、外の景色に緑があり、自然を感じながら本を読みたい」、「窓に面した1人用閲覧席を作ってほしい」という意見がありました。駐車場の隣の屋外閲覧席ではなく、屋内から緑を感じながら落ち着いて読書できる閲覧席の設計を希望します。また、近年の気候変動により、夏の高温化、冬の低温化、突然の豪雨の増加等が問題となっており、屋外テラスを快適に利用できる期間は短くなっていく可能性があります。さらに、屋外席の清掃、椅子や	屋外テラスは、概観の変化と、屋外と屋内をつなぐ居場所づくりの一案として提示したものです。植栽のご提案も含め、実施設計の中で総合的に検討してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9	P.39 、 P.47 P.47	机の管理、落ち葉や砂埃への対応等、テラス席を常に快適な空間とするための職員の維持管理負担も増えるのではないのでしょうか。改善案として、屋外テラス予定の場所は現在植え込みとなっていると思われるため、花壇や植栽を整え、屋内に窓側を向いた1人用閲覧席を設ける方が、明るく清潔で落ち着いた空間になると私は思います。 複数の保護者から「授乳室（可能であれば授乳室に水道の整備も希望）、おむつ交換台、キッズトイレがあるとありがたい」という意見がありました。39 ページに、新施設に追加されるバリアフリー機能として記載がありますが、47 ページの配置パターン案では実際に配置されているのかどうか分かりませんでしたので、コメントさせていただきます。 入口からキッズエリア、トイレ等へのベビーカーでの動線確保を希望します。また、北側にもう1つテラスが新設される計画だと理解していますが、保護者からは「お子さんがぐずった時にテラスに出られると気分転換になるのではないか」という意見がありました。現在は南側にキッズエリアがありますが、北側テラス付近をキッズエリアとし、トイレ等と近接させるのはいかがでしょうか。また、「子どもコーナーでは、のびのびとくつろぎながら親子で本を読みたい」という保護者からの意見があ	新たに整備する図書館は子育て支援を一つのテーマとしています。実施設計にて、バリアフリー機能として必要な設備の設置を検討してまいります。 動線や各エリアの配置、面積等は、今後の実施設計で検討いたしますが、可能な限り利用者の利便性を考慮いたします。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9		りました。本計画では、ワンフロアにキッズエリアと学習エリアが存在していることからキッズエリアには視界を妨げない壁とドアを設ける等の防音対策を希望します。		
	P.45 ～ P.50	本計画には具体的な言及がありませんでしたが、外国人住民もアクセスでき安全に利用できる施設となるように、館内サイン、利用案内、機能説明、展示、イベント等の情報発信について、多言語対応及びやさしい日本語による情報提供がなされることを希望します。特に、新施設は津波浸水想定区域にあるため、全ての利用者が災害時に適切に避難できるよう、災害時アナウンス等の多言語化は必ず検討してください。	今後の図書館運用において検討してまいります。	
	P.45 ～ P.50	人口規模が近い自治体の事例として、岐阜県飛騨市の図書館の取組も参考になるのではないのでしょうか。財政状況や地理的条件は異なりますが、内装、空間づくり、利用者向けのイベント、電子図書館、出張貸出サービス「飛ぶ図書館」（本計画の「まちじゅう図書館」に近い施策と思われます）、資料数や更新状況の公開等、人口の少ない地方自治体でも魅力的な図書館サービスを運営している先行自治体の事例として、良い部分を施策に取り入れて欲しいです。	様々な自治体図書館の取組を研究し、参考にしたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。	
	全体	本意見は、計画に反対するためのものではなく、下田市の図書館サービスがより良いものになり、市民の図書館		

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
9		利用が回復することを願って述べるものです。本計画を単なる施設整備ではなく、市内全域に公共図書館サービスが届く仕組み作りとして進めていただくことを希望します。		
10		下田市立図書館等生涯学習施設 基本構想・基本計画についてアンケートを実施した。 自習室があったら使いたいとの答えが、中央公民館では45.7%であったのに対し、稲生沢公民館では67.6%となっており、中央公民館では距離が遠く、需要が低いことがわかった。求められる機能としては、中央公民館、稲生沢公民館とも、勉強ができるスペースが最も多く、次にカフェみたいなリラックス空間や広いフリースペース・休憩スペースがあり、運動スペース（卓球、バレーボールなど）を求める声も多かった。 学校以外での居場所として、「使っている場所はあるか？」の問いに対しては、図書館が最も多く、次が塾、家、駅、市役所、ファミレスとなっていた。 また、開館時間については学校の自習室が19時までしか利用できないことから、それ以降の利用を求めている実態がわかった。中央公民館のみではなく、P.51に記載があるように、稲生沢公民館の活用についてぜひ検討をいただきたい。	アンケートを実施いただきありがとうございました。 複合施設の整備地である中央公民館は、都市計画上の都市機能誘導区域にあり、都市機能を維持・集約を図るエリアとなっています。また、当該区域内に複合施設を整備することは、中心市街地の活性化、こどもから高齢者まで多世代が日常的に訪れる拠点の形成につながるものと考えております。 しかし、旧市街地以外にお住いの方にとっては、移動手段が必要などの課題があることから、「未来の下田図書館」においても、各地域に「小さな拠点」を設置することで、「居場所としての図書館」を充実させることができないか検討を行っているところです。 稲生沢公民館については、高校・小学校に近いといった立地条件で、建物も耐震性を備え、耐用年数も残っています。また、地域からも高校生の居場所がないという声がよせられていることから、「小さな拠点」としての活用を検討してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。

パブリック・コメント取りまとめ様式

No.	頁	意 見	対 応	備 考
11	P.43 ～ P.50	一定の条件に基づいた「空間構成」はさまざまな案が考えられる。現在2階で使用している生涯学習機能はほぼ改修しないとなれば、用途変更に伴う法的な適合についての基本計画に明記がなく、工事金額に大きな影響を与える。このまま実施設計に入るのは問題がある。工事予算も踏まえ、基本構想も尊重しながら、実施設計もできる設計者に対して、基本設計からの「設計コンペ」を開催し、厳しい条件および予算の中でも、市民と一緒にって設計者の選定をすることがよいと思う。	図書館、中央公民館の複合化整備にあたっては、関係法令を遵守し、必要な手続きを行ってまいります。 実施設計の発注方法につきましては、今後検討してまいります。	

本計画と異なる内容に関しては省略します。